

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立紫波第三中学校（岩手県）

【取組内容⑤】「生徒会活動の効率化と活発化」

～Microsoft Teamsを利用した生徒間の情報交換と持ち帰りによる生徒会執行部間の企画検討～

Teamsに紫波三中全校生徒チームを作成し、生徒間でさまざまな交換をすることができるようにしています。

生徒総会の議案書は紙媒体の印刷ではなく、全生徒がタブレットにダウンロードし、持参しています。質問意見を述べる生徒の中には、議案書の隣に、発言内容を貼り付け、活用している者もいます。

資源の節約にも役立ち、このこと自体が環境教育の一環にもなっています。

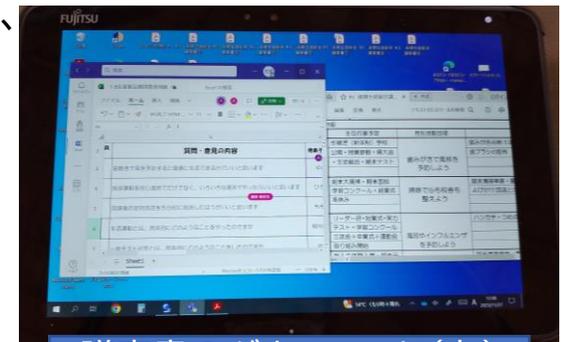
運動会や文化祭の企画立案も生徒会執行部が「宿題」と

して家庭にタブレットを持ち帰り、作業をするときもあります。

生徒会のアンケートも**Teams**を利用し、実施から集計まで生徒が行っています。

ふわふわ言葉アンケートは、執行部が30の言葉を校舎内に掲示しました。

生徒自らが考えて動くことで、主体生を育むことにもつながっています。



議案書のダウンロード(右)
自分の発言内容を貼付(左)



タブレット持参の生徒総会



ふわふわ言葉アンケート